

第4章 人口の将来展望

1 将来人口推計

(1) 推計の概要

人口ビジョンの改定に伴い、新たに将来人口推計を行いました。この推計は、平成30年度の総合計画・実行計画の改定に伴い行った将来人口推計を基礎としています。平成30年1月1日時点の区の人口を基準として、平成77（2065）年までを対象期間として推計を行いました。また、将来の人口動態は不確実であることから、前回と同様に、複数の仮定に基づくシミュレーションを行うことで、一定の幅を持った人口の将来展望を提示することとしました。

[推計方法等の概要]

推計方法	コーホート要因法を基礎
基準人口	杉並区の住民基本台帳登録人口(平成30年1月1日時点)
出生率 ^{※1}	平成29年の杉並区の合計特殊出生率(1.01)
出生男女比 ^{※2}	東京都の出生男女性比(平成23年～平成28年の平均値[105.0])
生残率 ^{※3}	「平成27年都道府県別生命表(東京都)」及び「平成28年簡易生命表」(厚生労働省)
人口移動 (転入率・転出率)	杉並区外地域との転入・転出実績を基礎(平成25年～平成29年の平均値)

※1 出生率…杉並区が独自に算出した数値であり、東京都福祉保健局が公表する数値とは異なる。

※2 出生男女比…年間の男子出生数/年間の女子出生数×100

※3 生残率…ある年齢の者が1年後に生存する確率

[推計の設定条件]

	合計特殊出生率(TFR)の仮定	人口移動の仮定
CASE1	H30推計と同様(1.01) 1.01=区内実績値(平成29年)	H30推計と同様
CASE2	H42(2030)までに1.20へ、さらにH52(2040)までに1.38へ上昇すると仮定(国における実績値から目標値への伸び率に準じて設定)	H30推計と同様
CASE3	[国の目標値] H25実績値の1.43から	CASE1の転入数がH37(2025)以降10%減少すると仮定
CASE4	H42(2030)に1.80へ上昇(約1.26倍) H52(2040)に2.07へ上昇(約1.45倍)	CASE1の転入数がH37(2025)以降20%減少すると仮定

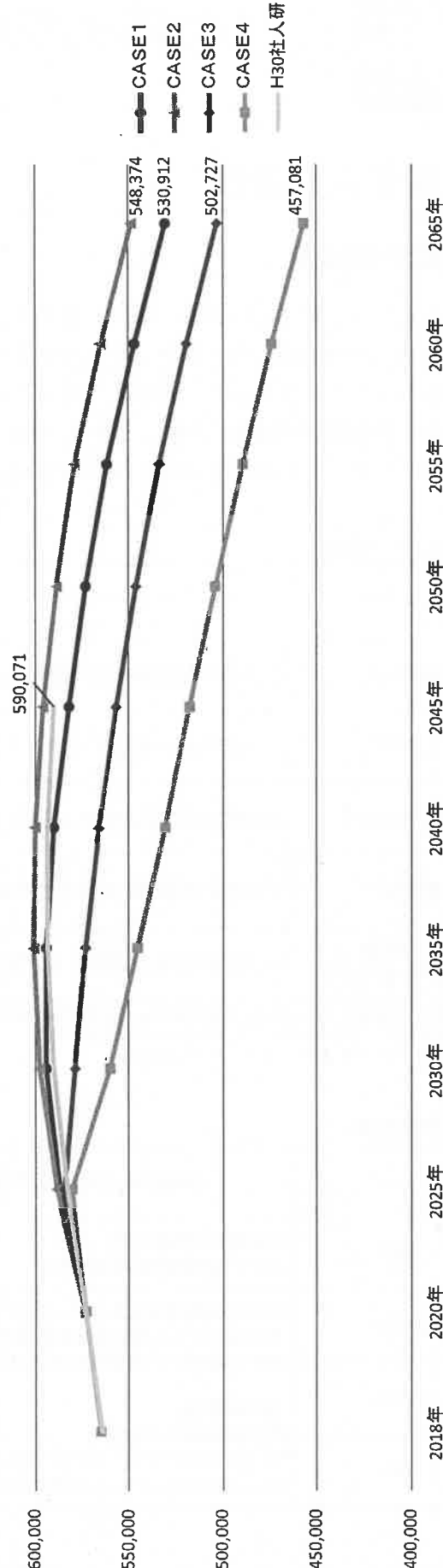
(2) 推計結果

(人)

	2018年 (H30)※1	2020年 (H32)	2025年 (H37)	2030年 (H42)	2035年 (H47)	2040年 (H52)	2045年 (H57)	2050年 (H62)	2055年 (H67)	2060年 (H72)	2065年 (H77)	基準人口(H30)と 最終年(H77)の差	減少率
CASE1 (H30区推計同様)	564,489	572,679	586,897	593,922	594,502	589,935	582,327	572,896	561,470	547,247	530,912	-33,577	-5.9%
CASE2 (TFR1.38)	564,489	572,747	588,082	597,185	600,668	599,728	595,548	588,442	578,417	564,778	548,374	-16,115	-2.9%
CASE3 (TFR1.38、転入数10%減)	564,489	572,747	584,025	578,603	572,905	565,431	556,535	546,143	534,035	519,358	502,727	-61,762	-10.9%
CASE4 (TFR1.38、転入数20%減)	564,489	572,747	579,968	560,021	545,142	531,134	517,522	503,844	489,653	473,938	457,081	-107,408	-19.0%
※1 H30区推計	563,997	573,283	582,753	590,450	593,666	593,535	590,071	—	—	—	—	—	—

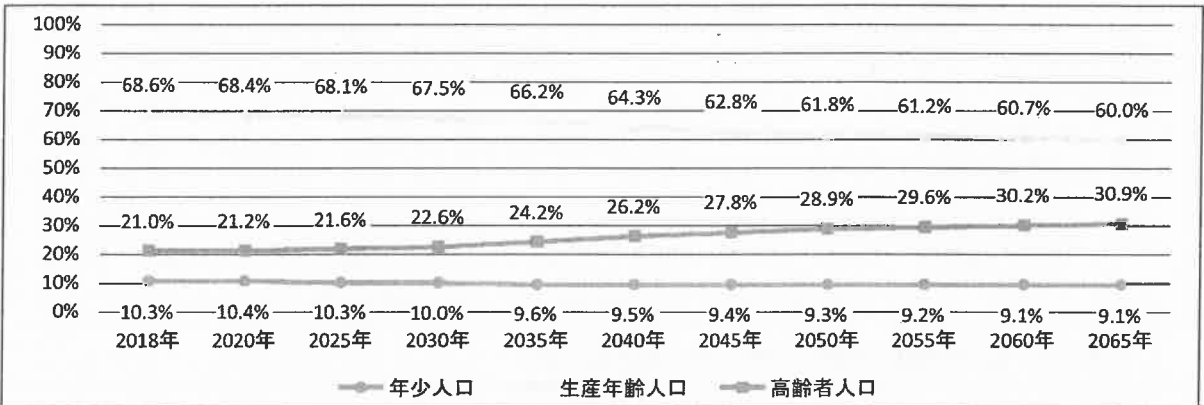
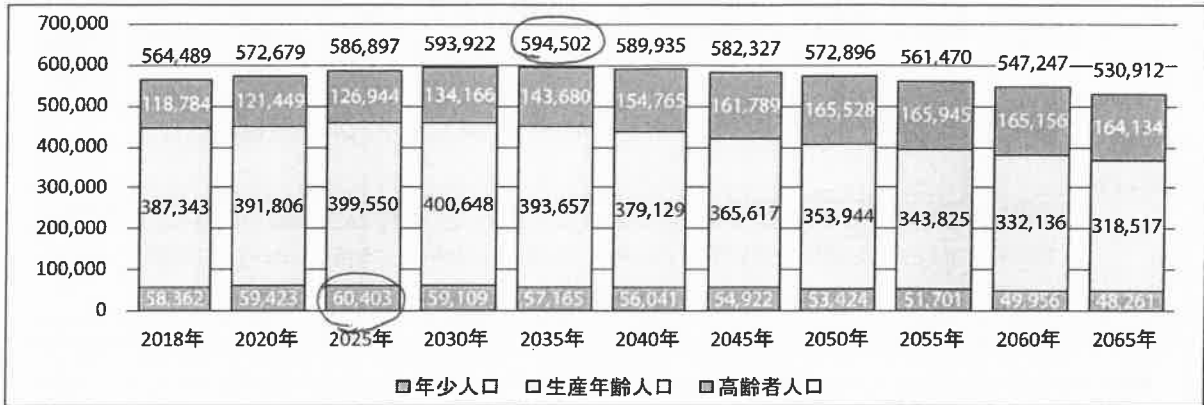
※1 H30区推計の初年度の数値は、国勢調査報告(総務省統計局)による平成27(2015)年の杉並区の数値である。

※2 H30区推計の数値は、「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」(国立社会保障・人口問題研究所)による。

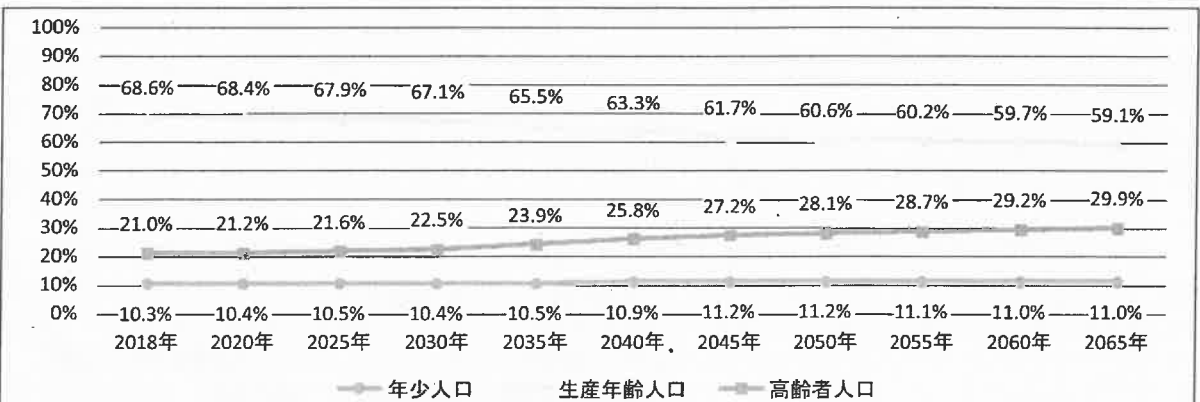
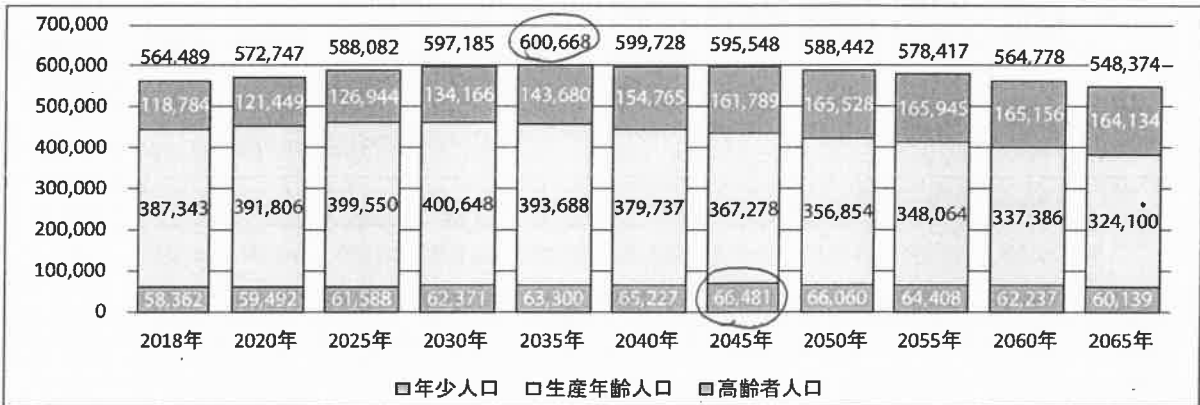


(3) 年齢3区分別人口

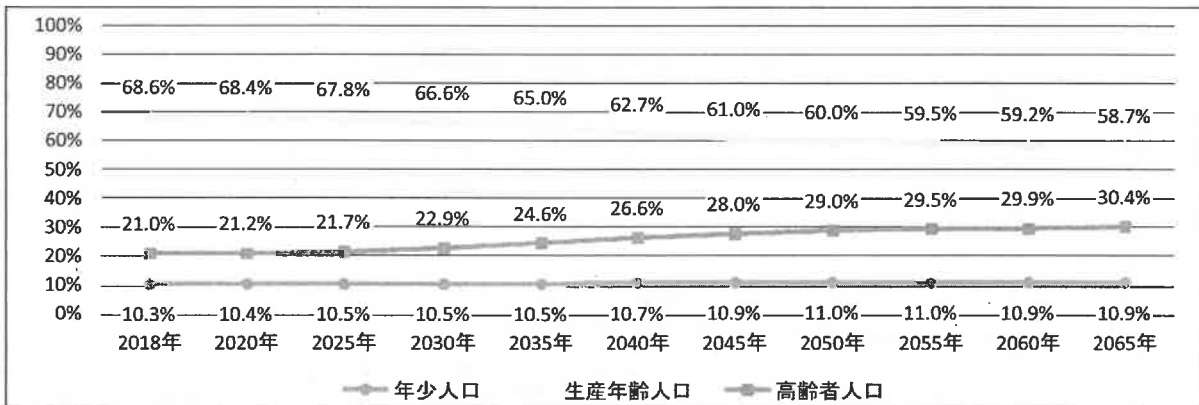
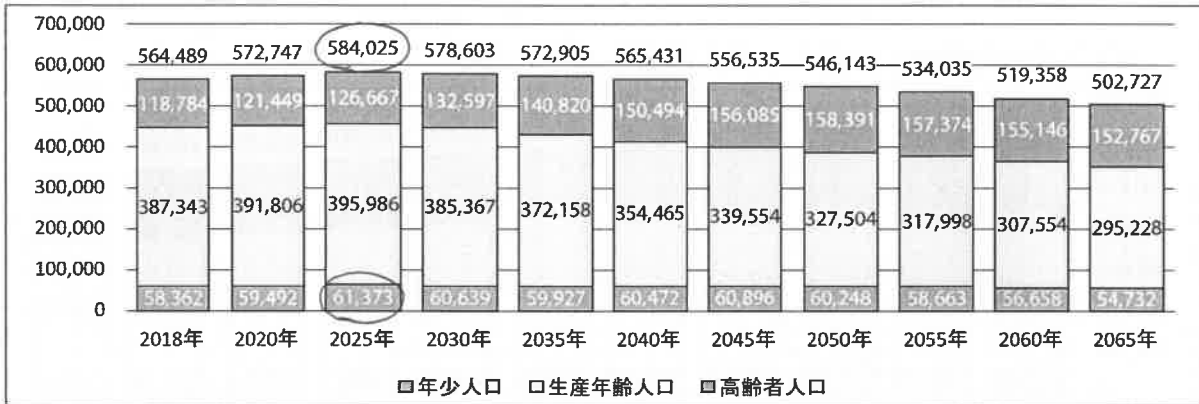
[CASE1] 合計特殊出生率1.01、転入数 (H30推計と同様)



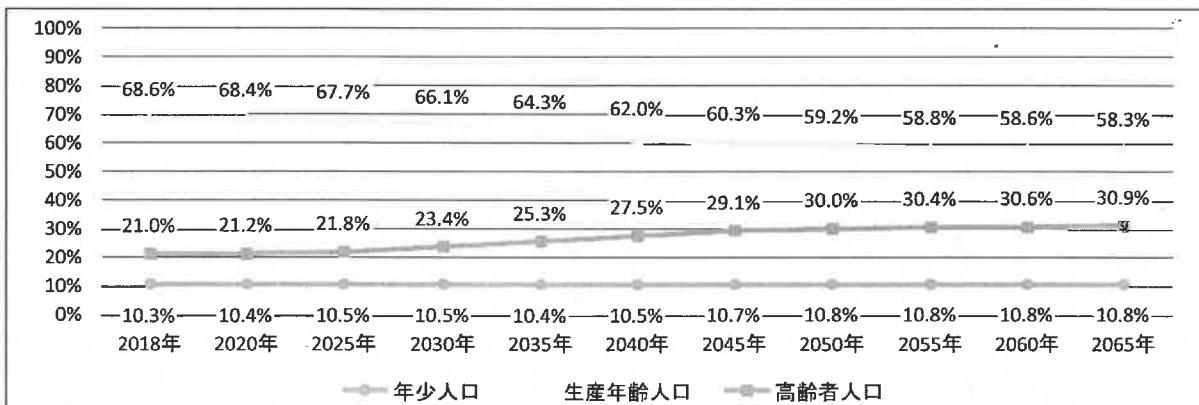
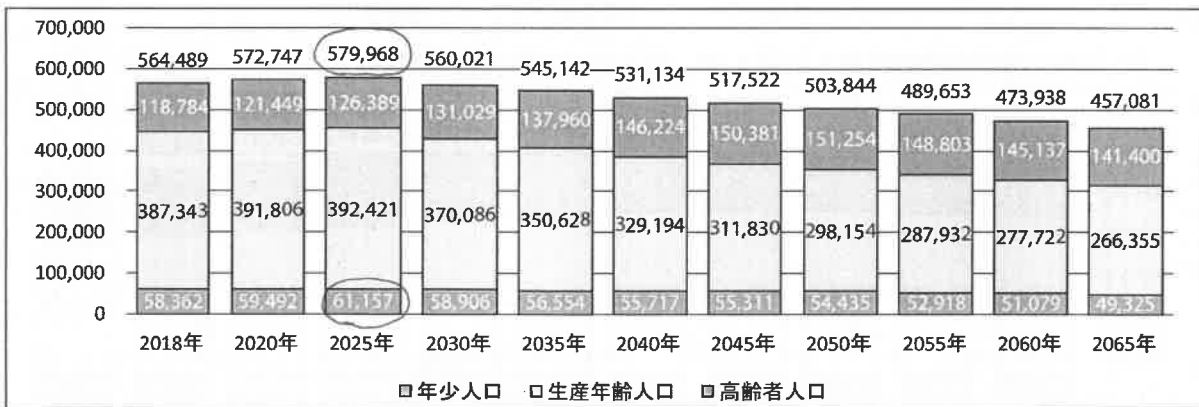
[CASE2] 合計特殊出生率1.01→1.38、転入数 (H30推計と同様)



[CASE3] 合計特殊出生率1.01→1.38、転入数×0.9



[CASE4] 合計特殊出生率1.01→1.38、転入数×0.8



出典 杉並区まち・ひと・しごと創生総合戦略
(平成31年度～33年度) 資料編